



带状疱疹ワクチンの定期予防接種

ID 1039843

問 保健予防課 ☎(626)1114

带状疱疹は、水痘・带状疱疹ウイルスを原因とする病気です。加齢や疲労などによる免疫力低下によって、皮膚の痛みや水疱を発症します。以下の内容を確認し、ワクチン接種をご検討ください。

■接種対象者

過去に带状疱疹ワクチンの接種を受けたことがない、次のいずれかに該当する人。①令和8年度に以下の年齢となる人②接種時に60～64歳でHIVによる免疫機能に障がいのある人（身体障がい者手帳1級程度）。

年齢	生年月日	
65歳	昭和36年4月2日～昭和37年4月1日	
経過措置	70歳	昭和31年4月2日～昭和32年4月1日
	75歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日
	80歳	昭和21年4月2日～昭和22年4月1日
	85歳	昭和16年4月2日～昭和17年4月1日
	90歳	昭和11年4月2日～昭和12年4月1日
	95歳	昭和6年4月2日～昭和7年4月1日
100歳	大正15年4月2日～昭和2年4月1日	

■実施期間

令和9年3月31日まで。

■ワクチンの種類と接種回数・自己負担額

	接種回数	自己負担額
生ワクチン	1回	1回2,500円
不活化ワクチン	2回(2カ月間隔)	1回6,500円

■ワクチンの効果

	生ワクチン	不活化ワクチン
接種から1年後	6割程度	9割以上
接種から5年後	4割程度	9割程度
接種から10年後	—	7割程度

■個別通知の送付時期

5月中旬（個別通知が届く前であっても、対象者は公費負担で接種できます）。

■接種方法

直接、市☒に掲載した市内・県内の指定医療機関に接種を予約。

■自己負担免除制度

▼対象 接種対象者のうち、次のいずれかに該当する人①市民税非課税世帯②生活保護被保護者③中国残留邦人の認定を受けている人。

▼その他 接種を受ける前に保健と福祉のまると相談窓口（市役所1階）、各☒・☒、保健予防課（竹林町・保健所内）窓口へ「自己負担免除申請書」を提出し、発行された「無料券（自己負担免除証明書）」を医療機関に持参する必要があります。接種後に申請した場合、接種費用は返金できません。



4月2日は自閉症啓発デー 4月2～8日は発達障害啓発週間です

ID 1004265

問 子ども発達センター

☎(647)4720

障がい福祉課 ☎(632)2353

毎年4月2日は「世界自閉症啓発デー」、4月2～8日は「発達障害啓発週間」です。この期間には毎年各地でさまざまな啓発活動が行われます。本市においても毎年啓発活動として、イベントを実施しています。

■発達障がいとは

発達障がいは、生まれつき脳の働き方の違いにより、行動や情緒に特性が見られる状態のことです。

発達障がいがある人は、他者との関係づくりや、コミュニケーションなどが苦手となりやすいですが、優れた能力を発揮する分野を持っている場合があります。しかし、そのアンバランスさと外見から分かりにくいことにより、周りから理解されにくい障がいです。

アンバランスな行動や態度は、「変わった人」「困った人」と誤解され、敬遠されることも少なくありません。

しかしその行動の原因は親のしつけや教育の問題ではありません。1人ひとりの特徴を理解し、接していきましょう。



本市では、発達障がい理解啓発紙「発達障がいを正しく理解しよう」を作成し、子ども発達センター、教育センターなどで配布しています。また、市☒にも掲載していますので、ご覧ください。

■発達障がいのパネル展

▼期間 4月3日まで。

▼会場 市役所1階市民ホール。

▼内容 発達障がいの理解を深めるためのパネル展示。

■子ども発達センターの装飾

▼期間 3月23日～4月10日。

▼会場 子ども発達センター（鶴田町）。

▼内容 自閉症啓発カラーの青で装飾。



なぜ青が自閉症カラーなの？

「癒やし」や「希望」を表す青が、自閉症のシンボルカラーとなっています。「発達障害啓発週間」に合わせて、全国のタワーや施設が青に染まります。